

～くらしに役立つ学習会～

身体への影響は？ PFAS を学ぶ

国内のPFAS(ピーファス)に関する報道は最近少なくなっていますが、問題は解決されたわけではありません。2024年4月の学習会で『PFASは一万種類以上ある有機フッ素化合物の総称』と学びました。虫歯予防の「フッ素」は、無機化合物なので別ものです。危険性が高いとされたPFOSとPFOAは原則使用禁止となりましたが、その他のPFASはまだ身近な製品の防焦・防汚・防水などの便利機能として使われています。それでも、米軍基地周辺や特定工場周辺の問題と“他人事”でした。しかし前回の学習会后、町田市南地区の井戸からPFASが検出されたことを新聞記事で知り驚きました。

そこで今回は、町田市での状況を踏まえ、身体への影響などを“自分事”として考える機会にしたいと思い、再び“食の安全・監視市民委員会”の植田武智さんにご講義をお願いいたしました。

全国に広がるPFAS汚染

沖縄や東京多摩地域以外でも国の暫定目標値(PFOSとPFOAの合計値 50ng/l)を超えて検出されるところがあります。日本最大規模のPFAS汚染地域とされている岡山県吉備中央町では、水道水からPFOA800~1400ng/lを検出。住民の血中濃度調査では、平均156.3ng/lでした。吉備中央町では、国内初の公費による血液検査と追跡調査を始めました。

気になる町田市と周辺地域の状況

東京都水道局へ町田市水道水のPFAS検査結果を問い合わせ2025年1~3月期の検査結果で滝の沢給水所の原水が46ng/l浄水で14ng/lとあり、気になっています。暫定目標値の50ng/l内ではありますが、かなりの高濃度と言えます。高濃度の原因は分かっていないようです。PFAS検査結果は公開されています。皆さんも聞いてみましょう。原因を調べるよう皆さんが声を

上げ、取り除くことができることを願っています。

また、3M ジャパンイノベーション(株)相模原事業所内の地下水が汚染(PFOSとPFOAの合計値 49ng/l~14000ng/l)されていることが分かりました。工場内検出であっても地下水の汚染ですから、いずれ工場外まで出ていくでしょう。

PFASの毒性・低用量でも危ない!

PFASは水によく溶けます。水に溶けて流れ蒸発し、雨となって降り注ぎ地球全体を汚染し、南極の海からも検出されています。基準値の単位の『ng(ナノグラム)』は、10億分の1gのことです。微量でも発がん性や健康リスクが懸念されます。健康への影響については、症状が特定されていないため、今後の追跡調査が待たれます。



PFASから身を守る

個人でできる対策としては、「適切な浄水器を設置する」がありますが、頻繁なメンテナンスが必要です。「フッ素加工のフライパンを使わない」「防汚処理済みの洋服を買わない」「ファストフード(包装紙に使用)を頻繁に食べない」などですが、限りがあります。国の規制を求めて声を上げましょう。

* * * * *

今回、町田市滝の沢浄水所の検査結果を知り驚きました。2026年4月から施行される基準値内とはいえ、世界的に見ると、アメリカの基準では4ng/l未満で0が望ましいとされています。日本の基準値は緩い状況です。私たちの暮らしの中に入り込み、とても便利なPFAS、しかし化学的に安定しほぼ分解しないと言われているPFASです。あらためて、“自分事”としてこの問題に取り組んでいかねばと切に思いました。

(文責 広報部)

相談室

外壁塗装工事



失敗しないための注意点

ご自宅の外壁塗装を検討している方もいらっしゃると思います。センターには塗装工事に関する相談も寄せられます。事例から、失敗しないための注意点をお伝えします。

事例 1

3日前、事業者が来訪し、近くで工事をしている、新しい塗料ができたので早く塗装したほうがいい、今日契約したら30万円値引きすると勧誘され契約した。代金250万円はローンを組んだ。知り合いに話したら築6年で塗装するのは早すぎると言われクーリング・オフの葉書を出し、ローン会社にはQRコードから通知した。大丈夫か。(40代)

事例 2

高齢の一人暮らしの母が、昨年訪問販売で外壁と屋根の塗装工事の契約をした。代金70万円は支払ったが、足場を組んだまま工期が過ぎたのに工事が始まらない。どうしたらいいか。(80代)

事例 3

半年前に訪問販売で外壁塗装の契約をした。塗り残しがあるが何度連絡しても対応してくれない。代金50万円は支払い済みだ。どうしたらいいか。(60代)

アドバイス

事例1は自身でクーリング・オフの手続きが行われているので問題ないと考えられますが、心配であれば電話で確認してみるよう伝えました。事例2は約束の工期が過ぎているのに工事が始まらないのであれば、解約して返金を求めることになるが、書面

で期限を切って対応を求め、事業者が対応しなければ法的対応になると伝え、弁護士相談を案内しました。事例3は粘り強く対応を求めて交渉するよう助言しました。

外壁塗装の塗り替え時期は、陽当たりや風通しなどの建物の立地条件によりますが10年から16年が目安です。ツヤがなくなってきた、色が褪せてきた、汚れやひびが目立つ、触ると手に粉が付く、カビやコケがはえてきた等の状態が確認されたら検討時期と考えられます。付き合いのある信頼できる業者がない場合は、東京都塗装工業協同組合などにご相談ください。訪問販売の事業者と契約した場合はクーリング・オフが適用されます。点検商法が横行しており、来訪した事業者に塗り替えを勧められてもすぐに契約せず、別の事業者にも相談するなど慎重に対応しましょう。

消費生活センターでは、塗装工事に関する学習会を開催しています、ぜひご参加ください。

身近な暖房器具などによる

一酸化炭素中毒に注意しましょう！

一酸化炭素は、無色・無臭で気が付きにくく、人体に極めて有毒な気体です。空気中における濃度が上昇すると頭痛などが起こり、さらに、濃度が上がると吐き気、めまいなどの中毒症状が進み、最悪の場合、死に至る危険性があることから、十分な注意が必要です。

▶事故を防ぐポイント

- * 木炭、練炭を使用する場合、換気が行われなると高濃度になる危険性があります。常時窓を開けるなどして換気を十分に行いましょう。
- * 石油ファンヒーター、ストーブなどの暖房器具を使うときは、換気扇の使用や、定期的に窓を開けるなどして換気を十分に行いましょう。

(東京くらしねっとNO. 298号から)

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「外壁塗装工事をする前に知っておきたい注意点 ～失敗しない事業者選び～」
2/5(木) 午前10時～正午 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

「食品ロスを削減 ～ムダなし料理を楽しもう～」
2/11(水) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 ホール

【お申込み先】 町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】 町田市消費生活センター 042-725-8805